

# 希少植物の “移植”

参考資料は…

- 平成19年度の日本造園学会では、生態工学分科会で「移植ミティゲーション」がテーマに取り上げられました。  
「平成19年度日本造園学会全国大会分科会講演集」に詳細が掲載されています。
- 日本生態学会ホームページ  
<http://www.esj.ne.jp/esj/>
- 日本造園学会ホームページ  
<http://www.landscapearchitecture.or.jp/>
- 日本緑化工学会ホームページ  
<http://www.soc.nii.ac.jp/jsrt/>

生き物と共生する地域づくりに関連する  
様々なニーズにお応えします。

## 1. 自然環境調査

- ・植物、動物、水生生物、地象、景観等の調査・解析・評価
- ・環境アセスメント全般、モニタリング
- ・河川水辺の国勢調査

## 2. 生態技術

- ・生態系保全、復元、創出に係る調査・計画・設計・設計監理
- ・ミティゲーション、ピオトープ、エコロード、多自然型川づくり
- ・GISによる生態系の解析

## 3. 啓発普及・支援

- ・市民参加型調査の企画、運営
- ・環境学習、自然観察会への支援
- ・里山、ピオトープ等の管理・運営プログラムの作成

詳しくは、「ちいかん」担当者  
お気軽にお問い合わせください。

生き物と共生する地域づくりを支援する  
株式会社 **地域環境計画**

建設コンサルタント(国土交通大臣登録建18第5694号)

- 東京本社 〒154-0015  
東京都世田谷区桜新町2-22-3 NDSEビル  
TEL:03-5450-3700 FAX:03-5450-3701  
〒001-0017
- 北海道支社 北海道札幌市北区北17条西5丁目2番39号 サンオービル 1F  
TEL:011-717-8001 FAX:011-717-8021  
〒960-8061
- 東北支社 福島県福島市五月町8-42 コア五月ビル  
TEL:024-528-9788 FAX:024-528-9789  
〒569-1123
- 大阪支社 大阪府高槻市芥川町1-15-18 ミドリ芥川ビル1F  
TEL:072-684-3182 FAX:072-684-3184  
〒814-0006
- 九州支社 福岡県福岡市早良区百道2-9-3 笠ビル 3F  
TEL:092-833-5270 FAX:092-833-5271

<http://www.chiikan.co.jp/>

掲載情報は2007年11月現在のものです。

# ちいかん

vol.1

生き物と共生する  
地域づくりに役立つ  
ナレッジのご紹介

# mini 通信

今号のテーマは…

# 希少植物の “移植”を 成功させよう!



a~fは  
今までに「ちいかん」が  
移植したことがある  
希少植物です。

\*この花たちの名前はなあに?  
答は次頁どうぞ。

# “移植”を成功させるポイントは？

希少植物の移植(transplant)を成功させるためには、**移植前**の細かな調査はもとより、**移植後**の十分な**管理とメンテナンス**も必要です。

## ちいかんの植物移植の事例

フクジュソウ、バイカオウレン、サンインシロカネソウ、ヤマシャクヤク、サクラソウ、コケリンドウ、ハシリドコロ、ナベナ、シデシャジン、イトモ、ヤマユリ、ササユリ、キンコウカ、ノハナシロウブ、ミクリ、ナガエミクリ、キンラン、クマガイソウ、エゾサカネランほか



a.サクラソウ



b.ササユリ



c.クマガイソウ



d.シデシャジン



e.コケリンドウ



f.フクジュソウ



g.キンラン

成功しました!



### イトモ (多年草)

【環境省カテゴリー】 準絶滅危惧

【生育環境】 水湿地 (水域)

【生存に対する脅威】 埋め立てや水質汚濁

■地上部が枯れていたため、株移植が困難な状況でした。そこで、種子、殖芽、植物の一部が入っている池の底の土壌を採取して、土壌が流れないように枠を設置して泥を入れました。その結果、次年度の生育を確認できています。

成功しました!



### ミクリ (多年草)

【環境省カテゴリー】 準絶滅危惧

【生育環境】 水湿地 (水域)

【生存に対する脅威】 河川や湖岸の改修

■水の中に生育する植物ですから、植え付けた植物が浮いてこないような工夫をしました。〔ヤシネットに穴を開けそこからミクリを出し、四隅を割り箸でとめる等〕次年度、ほとんどの株は生育しています。

難しい移植例は...



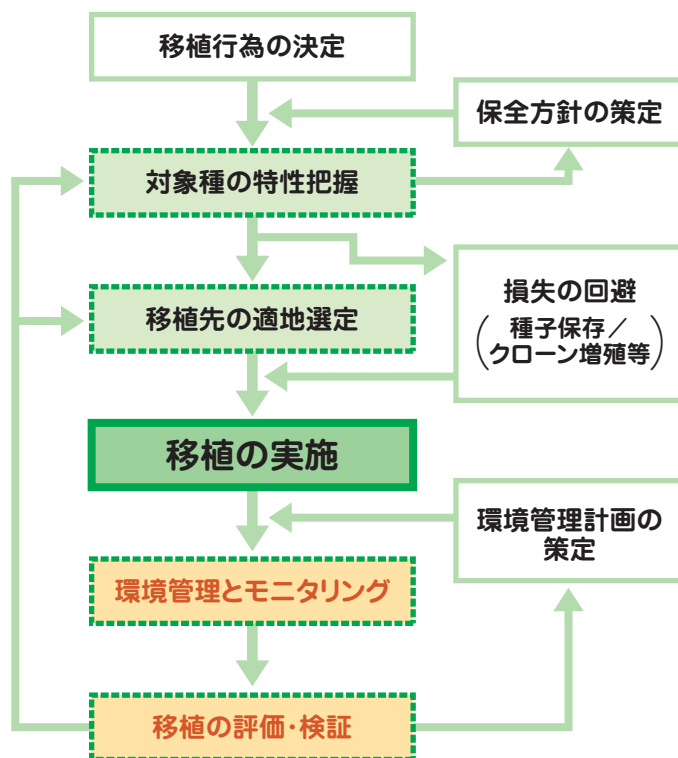
### エゾサカネラン

【北海道レッド】 絶滅危惧種

【生育環境】 落葉広葉樹林下

■一般的に、ラン科植物は土中の菌との共生関係があるため菌類等と一緒に移植することが必要です。しかし、土壌ごと移植をしても失敗する場合があります。

## 植物の移植についての考え方



平成19年度 日本造園学会全国大会 分科会講演集  
生態工学分科会 エコロジカルマネジメントシステム-移植ミティゲーション-より

▼例えばこんな時、「ちいかん」にご相談ください。

この植物をどこに移植させたらうまくいく？

候補地をすばやく的確に選定したい!

この植物の必要環境は？

- ・移植候補地をGIS(地理情報システム)を用いて効率的に探すことができます。
- ・移植の全ての工程に関して対応可能です。一部分だけでもお気軽にご相談ください。
- ・豊富なノウハウと実績で「調査、計画、施工・管理、事後評価」を行い、スムーズに成功へと導きます。

日本造園学会発表

2007年5月日本造園学会で「サンインシロカネソウの移植候補地について」を発表しました。(大阪支社・石山)

